

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ジャノメ 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮崎 幸靖 (TEL) 042-661-3071
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,688	13.5	481	—	735	—	623	—
2024年3月期第1四半期	7,653	△27.0	△180	—	△119	—	△138	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,551百万円(48.9%) 2024年3月期第1四半期 1,042百万円(△34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	33.98	—
2024年3月期第1四半期	△7.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,393	36,082	68.6
2024年3月期	50,821	34,996	67.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 35,275百万円 2024年3月期 34,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	15.00	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.7	2,500	45.6	2,400	36.1	1,500	32.6	81.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	19,521,444株	2024年3月期	19,521,444株
2025年3月期1Q	1,186,639株	2024年3月期	1,186,639株
2025年3月期1Q	18,334,805株	2024年3月期1Q	19,331,271株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、長引く金融引き締めの中なかでも家計貯蓄が消費の原資となり、米国を中心に海外経済の下振れリスクが薄らいだものの、欧州、中国では依然として低調な動きとなりました。国内においては、経済活動の正常化や雇用・所得環境改善、インバウンド消費の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調が続いています。

このような事業環境のもと、当社グループでは、SNSを活用した情報発信や販売機種構成の見直しを行うとともに、積極的な販売活動に努めたことにより、ミシン販売が堅調に推移いたしました。産業機器事業においては、国内外の機械設備投資案件の様子見によるプロジェクト遅延等により販売は引き続き苦戦を強いられましたが、ユーザーのニーズに沿った製品の提供に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は8,688百万円（前年同期比1,034百万円増）、営業利益は481百万円（前年同期は営業損失180百万円）、経常利益は735百万円（前年同期は経常損失119百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は623百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失138百万円）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

海外では、積極的な販売活動により市場の需要喚起に努めました。ロシア・ウクライナ情勢の影響は続いているものの、為替も円安が継続したことで優位に働く中、北米、欧州、インドを中心に売上げは堅調に推移しました。

国内では、販売体制および販売機種構成の見直しを行い収益構造の改善を図ったほか、人気キャラクターとのコラボイベントやユーザー層の拡大につなげるワークショップの開催など、消費者の購買意欲醸成のための積極的な販売アプローチに取り組みました。学校販売においては、全国の小・中学校の先生方を対象にミシンの操作方法をレクチャーする「オンラインミシン講習会」の実施など、サポート体制を強化しました。

この結果、家庭用機器事業全体の売上高は6,823百万円（前年同期比1,274百万円増）、営業利益は530百万円（前年同期は営業損失276百万円）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、国内外における機械設備投資案件への消極的な姿勢は続いており、主に産業用ロボット向けダイカスト鋳造品の生産減少などを含め、依然として厳しい状況が続きました。一方、市場ニーズの把握に努め、クライアントの使用用途に合わせてカスタマイズした卓上・直交ロボットを組み込み、付加価値を高めるなど、技術サービスによる新たな需要の創出を目指しました。

この結果、産業機器事業全体の売上高は1,190百万円（前年同期比250百万円減）、営業損失は173百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

<IT関連事業>

ソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、引き続き品質管理の徹底による生産性の向上を図るなど、顧客に満足いただけるサービスの提供に努めたことにより、デジタルトランスフォーメーション（DX）の浸透による需要増加等を背景に安定した受注もあり、売上げは好調を維持いたしました。

この結果、売上高は622百万円（前年同期比12百万円増）、営業利益は95百万円（前年同期比15百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は51,393百万円（前連結会計年度末比572百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が商品及び製品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により27,103百万円（前連結会計年度末比533百万円増）となりました。固定資産は投資有価証券の増加、土地の減少等により24,290百万円（前連結会計年度末比39百万円増）となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の減少、支払手形及び買掛金の増加等により7,857百万円（前連結会計年度末比518百万円減）となり、固定負債は退職給付に係る負債の増加等により7,454百万円（前連結会計年度末比5百万円増）となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により36,082百万円（前連結会計年度末比1,085百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表しました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

なお、当社は株主の皆様への利益還元のための一層の充実を図るため、2025年3月期より中間配当を行い、剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回の実施とすることといたしました。また、「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました2025年3月期の配当予想につきましては、第1四半期時点において、堅調な業績推移となっているため、年間の配当額を1株当たり40円（中間配当15円、期末配当25円）に修正しております。詳細は、本日公表の「配当予想の修正（中間配当の実施）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,510	7,154
受取手形及び売掛金	7,262	6,750
商品及び製品	6,317	7,374
仕掛品	758	916
原材料及び貯蔵品	4,336	4,554
その他	710	688
貸倒引当金	△325	△336
流動資産合計	26,570	27,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,817	4,793
土地	11,927	11,715
その他（純額）	2,586	2,799
有形固定資産合計	19,331	19,308
無形固定資産		
その他	626	640
無形固定資産合計	626	640
投資その他の資産	4,293	4,340
固定資産合計	24,250	24,290
資産合計	50,821	51,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,005	2,420
短期借入金	3,149	1,756
未払法人税等	206	124
賞与引当金	612	324
その他	2,401	3,230
流動負債合計	8,375	7,857
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,917	2,859
退職給付に係る負債	3,568	3,608
その他	962	986
固定負債合計	7,449	7,454
負債合計	15,825	15,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	0	0
利益剰余金	13,234	13,530
自己株式	△1,025	△1,025
株主資本合計	23,581	23,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	98
土地再評価差額金	6,548	6,416
為替換算調整勘定	3,717	4,636
退職給付に係る調整累計額	246	246
その他の包括利益累計額合計	10,621	11,397
非支配株主持分	793	806
純資産合計	34,996	36,082
負債純資産合計	50,821	51,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,653	8,688
売上原価	4,809	4,963
売上総利益	2,843	3,724
販売費及び一般管理費	3,024	3,242
営業利益又は営業損失(△)	△180	481
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	54	66
為替差益	113	172
その他	38	34
営業外収益合計	212	285
営業外費用		
支払利息	21	10
事業再編費用	114	—
その他	15	21
営業外費用合計	150	31
経常利益又は経常損失(△)	△119	735
特別利益		
投資有価証券売却益	3	2
固定資産売却益	0	28
特別利益合計	3	30
特別損失		
固定資産除売却損	18	4
減損損失	—	5
特別損失合計	18	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134	755
法人税、住民税及び事業税	△9	108
法人税等調整額	21	37
法人税等合計	12	145
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146	609
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△138	623

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△10
為替換算調整勘定	1,143	953
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	1,188	942
四半期包括利益	1,042	1,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,038	1,531
非支配株主に係る四半期包括利益	3	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	826	904	610	2,341	—	2,341
北米	1,707	58	—	1,766	—	1,766
欧州	1,810	153	—	1,963	—	1,963
その他	1,204	325	—	1,529	—	1,529
顧客との契約から生じる収益	5,549	1,441	610	7,601	—	7,601
その他の収益	—	—	—	—	52	52
外部顧客への売上高	5,549	1,441	610	7,601	52	7,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	151	122	273	23	297
計	5,549	1,592	732	7,875	75	7,950
セグメント利益又は損失(△)	△276	△14	79	△211	28	△182

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△211
「その他」の区分の利益	28
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△180

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	737	725	622	2,085	—	2,085
北米	2,318	56	—	2,375	—	2,375
欧州	2,146	99	—	2,245	—	2,245
その他	1,621	309	—	1,930	—	1,930
顧客との契約から生じる収益	6,823	1,190	622	8,637	—	8,637
その他の収益	—	—	—	—	51	51
外部顧客への売上高	6,823	1,190	622	8,637	51	8,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	181	148	330	22	353
計	6,824	1,372	770	8,967	74	9,041
セグメント利益又は損失(△)	530	△173	95	452	27	480

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	452
「その他」の区分の利益	27
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	481

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	262百万円	250百万円